

池上委員長が山崎宇宙飛行士の搭乗したシャトルの打上げに際し、坂田次官に同行してケネディー宇宙センタを訪問した。其の時の報告を 10 分弱行った。

池上委員長：山崎飛行士らが搭乗しました、スペースシャトル・ディスカバリーの打上げに行きまして参りました。其れについてご報告したいと思います。であの、今回のミッションは二人の日本宇宙飛行士が同時滞在すると。此れはあの、アイサツ(?)の中ですネ、又あの、日本の女性飛行士として二番目となる山崎さんが其処へ乗ってって云う事で御座いまして、まあ、謂わば記念すべき打上で御座いました。で、あの、当日はアメリカ時間で以て朝、アア、6時21分打上げと云う事だったんですが、全て予定通りいきましてですネ、で、あの、其れ迄必ずしも天候は良くなかったんですが、打上げる時だけ非常に綺麗に晴れましてですネ、で、どうも色々今迄の経験、今迄観測、立ち会った方のお話でもですネ、斯う云う事はめったにないって云う風な話で御座います。で、しかも天体ショーってば天体ショーなんだって気がしたんですが、更に盛り上げたのはですネ、丁度打上げの15分位前に、ISS が流れ星よりは勿論遅いんですが、丁度天空を横切りましてですネ、で、非常に上手く行った話だナァと云う風に、15分前にISS がズーッと飛んでおりまして、で打上げる訳ですが、「アア、あそこに行くのか。」と、云う事を皆さん、実感として感ずる事が出来ました。アレ、実は日本でも見れますんで、JAXA の方のウェブページをアクセス

しますと、何時日本の上空をISS が通るかってのがですネ、あのー、予定が書かれて居りますんで、是非機会があったらご覧になって頂きたいって云う風に。で、そう云う事で非常に順調に打上げが進みましてですネ、で、其の打上げを見届けた後、宇宙開発委員会のミッションとしての談話を、あの、ハシュツ(?)して居ります。で、今回の訪問に關しましてですネ、丁度打上げの一寸前に、あの、ブリーフィングってのがあるんですヨ。其の前に大体 15 分から 20 分位、非常に忙しいスケジュールだったんですが、NASA の、あの、ボーデン長官、それから文科省から坂田次官が、あの、意見交換をする様な場が御座いまして、で、我々も勿論、ムニャムニャ、で、あの、NASA 側からはですネ、日本に對しまして、まあ、此れまでISS について色々協力為さって来ましてネって云う様な事を言ひましてネ、今後まあ、どうするかって云う事についての、非常に大きな期待の話が御座いまして、で、特に今、彼等はその、アドバンスメント・オブ・HTV って言ってる訳なんですけど、其のHTV を、今、あの、勿論あの荷物と、それからプレッシャー・モジュールで以て、物を運ぶって云う事をやってる訳なんですけど、其れをその、更に高度化すると云う事も、是非考えて欲しいと。で、此の場ではですネ、一応荷物がもう一度地球に戻って来ると云う事まで考えて欲しいって事なんですけど、実はその、前の前の日ですか、JAXA のレセプションが御座いまして、其の時あの、わざわざボーデン長官があの、来てくれましてですネ、で、挨拶致しまして、で、其の中にはその、アドバ

ンスメント・オブ・HTVの中に、物と人も含めてですネ、色々考えたらどうですかと云う風な話が御座いました。そう云う風なアメリカとして見ますと、HTV、現状よりも更に機能を向上した様なものを、日本で是非考えて欲しいと、いや、考えたら如何ですかと。そう云う意味での期待がムニャムニャ。で、まあ、これについてはですネエ、あの、ISS 計画、エー、日本は最初から参加して居りまして、約四半世紀既に経った訳で御座いますけれど、「きぼう」については既存の計画に沿いまして、あの、出来上がった後、勿論其れを上手く使うと云うフェーズに入ってる訳で御座いますけれど、上手く使うと云う様な線です。で、此れから色々具体的に考えてくと。で、此れは坂田次官の方からも、そう云う様なお話が御座いました。で、まあ、どう具体的にやるかについてはですネ、宇宙開発委員会の方で、具体的に色々議論すると云う事もですネエ、坂田次官の方から公表されておりました。で、そう云う意味で、今あの、JAXA を具体的にあの、何て言うんですか、面倒を見てるのは文科省だけでありましてですネ、まあ、或る意味で予算で云う意味なんですけど、で、そうしますとJAXA が具体的にISS で今後どうするかで云う、現時点では文科省の方が責任を持って範を垂れなさいけない。て云う事は我々も其れにキチンとムニャムニャムニャ。是非あの、幅広い形で議論して行きたいと云う風に思っています。特にあの、NASA は今迄は、宇宙ステーションは火星に行く、或いは月に行きステップとして、人間がどれだけ耐える事が出来るかって云うその、人体実験

的な使い方しかしていなかったんですが、2月1日の大統領の予算調書の中にですネ、NASA に対するまあ命令、ア、指示としてですネ、その、ISS をナショナルラボとして使えと云う事を示した訳ですネ。で、余り NASA も今迄そう云う様な意識が無かった。で、我々は寧ろナショナルラボとして使おうと云う意識が非常に強かったんですけれど、そう云う意味じゃアメリカも従来とは違う形で、NASA をナショナルラボとしてもですネ、ムニャムニャ使っ行ってこうムニャムニャ。多分、其れに対する予算もついて居るって言う風に思うんですが、まあ、私としてはそう云うナショナルラボと云う場ですネ、是非あの、日本が良い成果を上げて欲しいナと云う風に感じて居ります。

それからもう一つはですネ、今回行って、あの、NASA の皆さんと色々話してるんですが、NASA のあの、丁度今活躍してる人にとってはですネ、或る意味じゃスペースシャトルが全てだったんですネ。で、大体こう、色々聞いてみると、じゃ何故 NASA に入ったかって云うとスペースシャトルが始まった頃だとかですネ、或いはチャレンジャー事故があった時だと、皆、あの、あそこになんか来てる人は、NASA のエンジニアは、全てその、スペースシャトルで今迄やって来た。で、そう云う方にとってはですネ、打上げもう後3回しか残って居ないんですが、其の3回しかないと云う事に対する非常に、どう言ったら良いんですかね、センチメンタルな思いがある様で御座います。で、まあ、あの、少なくともシャトル関係の建物って云うのは此れから全部撤収

する事になるんで御座いますけれど、何かこう、あの、非常に特別な雰囲気、私感じて参りました。ただ、あの、今後どうするかって事については、これはあの、オバマ大統領にとっても重要な、あの一、課題でありまして、16日ですか、一応フロリダで以て、大統領も出席して、シャトルから、...あん時はまあ、コンステレーション計画が、止めた後どうするかって云う事についての話をですネ、色んな考え方って云うのを、あの、示してまあ、一種のタイムメキ(?)的な事をやる。これは具体的には雇用の問題とかですネ、フロリダの産業の問題、そう云う問題非常にセットになっている。我々の考える以上に多分難しい問題じゃないかと云う様に思うんですが、ですから、アメリカにとってもシャトルを止めるって事は、非常に大きな事件だと云う事をですネ、あそこに行って感じた次第で御座います。

で、今回のミッションはですネエ、順調ではあったんですが、最初はアンテナが故障したかですネ、ダウンロードが上手く行かなかったと、そう云う事があったんですが、アレは一応あの、回復した様ですネ。其の辺は今回の技術担当である山崎さんが色々担当していたと云う事を聞いて居りますけれど、あの、ですから、今回大きなトラブルって云うか、問題になる様なトラブルは無い様な形で打ち上がったと云う事は我々にとっても非常にうれしい話で御座いました。で、ただ、あの一、其のチェックを確認する為に一日延期をされると云う事で、今の処ムニャムニャですか、帰還が予定されて居まして、で、所期の目標を達成して、皆さんが無事

に帰還される事を願っています。

後はですネ、先程あの、NASA のレセプションで、ボーデン長官がですネ、ダブルダブルの喜びだって云う事言って、此れ通訳どう訳して良いかわからなかったんですが、私も良く分かんなかった。最初のダブルはですネ、日本人が二人、宇宙ステーションでオキデトッタ(?)で、ダブルダブルは、の4と云うのはですネ、此れあの、女性が現時点ではですネ、今あの、宇宙ステーションに4人滞在してる訳ですネ。で、其れがうれしい。特にダブルダブルは女性の参加者、拍手して喜んでおりましてですネ、何か女性が此れから宇宙を制覇するんだってな感じも御座いましたけれど、そんな様な事も御座いました。と云う事で、あの、無事に帰って来る事を、我々としても期待して居ります。